Rinnai® システムキッチン用［ドロップインコンロ］

IH クッキングヒーター

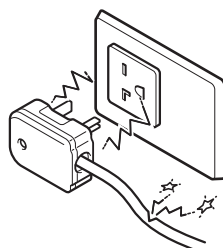
設置説明書

単相200V

型　　式	型式の呼び	備　　考
RKD321G10S	RKD321GS	シルバー
RKD321G11S	RKD321GS	ブラック

◆設置される方へのお願い

- この機器を安全に正しくご使用いただくために、この設置説明書をよくお読みになって指定された設置を行ってください。
- 電気工事は必ず電気工事士の資格取得者が行ってください。
- 設置が終わったら 6 設置後の点検確認 のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使いかたを説明してください。
- 設置終了後は、この「設置説明書」と「取扱説明書」をいっしょにして、必ずお客様にお渡しください。

1 安全に正しく設置していただくために

機器を安全に正しく設置していただくためや、設置作業者や使用者への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの設置説明書ではいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

 一般的な警告・注意
 一般的な禁止
 電源プラグを抜く
 必ず行う
 分解禁止

 アース確認
 換気必要
 ぬれ手禁止
 接触禁止
 水ぬれ禁止

特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください

⚠警告

■設置は必ず、この「設置説明書」に従う

変則的な設置をすると事故や火災の原因となります。

確認

■この機器を安全に正しくご使用いただくために、この「設置説明書」をよく読み、指定された設置を行う

確認

■電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規定」および設置説明書に従って施工し、必ず専用回路を単独で使用する

電源回路の内容不足や施工不備があると感電や火災の原因になります。
（この機器は、単相200V　20A が必要です）

確認

■傷んだ電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない

感電、火災の原因になります。

禁止

■アースを確実に取り付ける

- 故障や漏電のときに感電や火災の原因になるおそれがあります。
- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

アース確認

■電源プラグをはずしたり、電源コードを切断して直結しない

感電、火災の原因になります。また、アフターサービスができなくなります。

禁止

■絶対に改造・分解は行わない

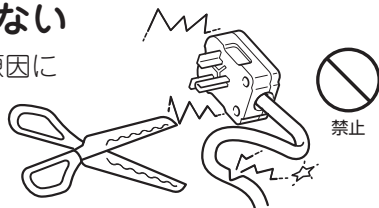
分解禁止

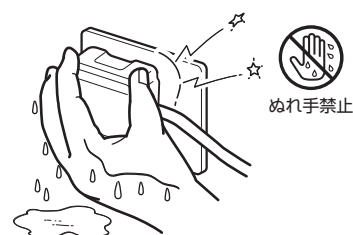
設置で必要なところ以外は絶対に改造・分解は行わないでください。
感電、火災の原因になります。

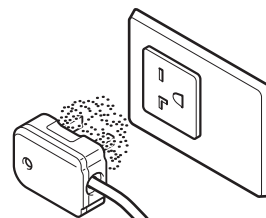
⚠警告

■**電源コードを加工したり、無理な力を加えたり、物をのせたり、たばねたりしない**

感電、火災の原因になります。

禁止

■**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電やけがをすることがあります。

■**電源プラグにほこりが付着していないか確認し、プラグの根元までしっかりコンセントに差し込む**

ほこりが付着していたり、コンセントへの接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

ほこりをとる

■**ガソリン・ベンジン・アルコール・接着剤などの引火性危険物を取り扱う場所には設置しない**

発火する原因になります。

禁止

⚠注意

■**設置する機器が使用する電源の電圧と周波数に適合していることを銘板で確認する**

合っていない場合そのまま使用すると火災や故障の原因になります。

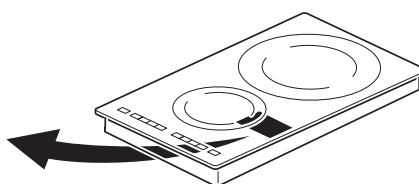
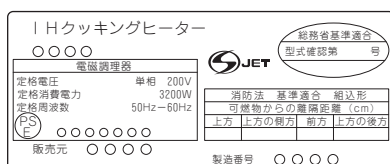
銘板は本体底面に張ってあります。

確認

〈例〉

IHクッキングヒーター
○○○○
電磁調理器
定格電圧 単相 200V
定格消費電力 3200W
定格周波数 50Hz−60Hz
PSE ○○○○○○○
販売元 ○○○○
総務省基準適合
型式確認第 号
JET
消防法 基準適合 組込形
可燃物からの離隔距離（cm）

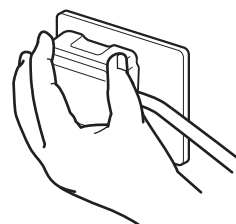
上方	上方の側方	前方	上方の後方

製造番号 ○○○○

■**この機器は一般家庭用です**

業務用として使用しないでください。機器の寿命が極端に短くなります。

禁止

■**電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く**

守らないと感電やショートして発火するおそれがあります。

電源プラグを抜く

■**トッププレートに衝撃を加えない**

トッププレートの上に乗ったり、物を落としたり、衝撃を加えないでください。

万一ひびが入ったり割れると、異常過熱・異常動作・感電の原因になります。

禁止

⚠注意

■設置するときは可燃物との距離を確実に離す〔消防法　基準適合　組込形〕

- 火災予防条例で定められています。必ず守ってください。
  距離が近いと火災の原因になります。また、可燃性の壁にステンレス板などを直接取り付けてご使用になっても、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し火災になることがあります。
- 周囲に可燃物（木製の壁、棚など）のある場合は次のようにしてください。
  トッププレートより上の側面は加熱印刷面より10cm 以上、後面は加熱印刷面より10cm 以上、上部はトッププレート上面より100cm 以上離して設置します。
- 可燃性の壁（ステンレス板などを張り付けた可燃性の壁も含む）から側面は加熱印刷面より10cm 以上、後面は加熱印刷面より10cm 以上、また、上部はトッププレート上面から100cm 以上離して設置できない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けてから設置します。調理台・流し台の側面などが可燃性で機器のトッププレートより高い場合も、流し台側面を保護してください。

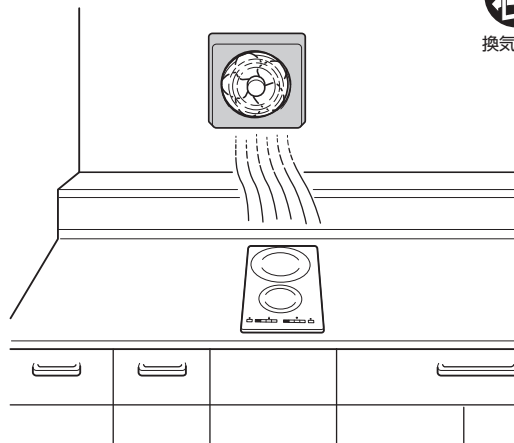
※防熱板については、お買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所にお問い合わせください。

■設置するときは、下記の項目に注意してください

- ガスドロップインコンロと併設する場合は、離隔距離を確認の上、長い方を基準として設置してください。
- 設置場所を決めるときは、お客様とよく相談する。
- 併設して燃焼機器を設置する場所には、建築基準法や火災予防条例に定める防火措置を施す。
- この機器を設置される台所が、建築基準法に定める「内装制限を受ける調理室」に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。
- 機器の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部が接触しないようにする。または、機器の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付ける。
- 水平で安定した場所に設置する。
- 指定の防熱板を必ず使用する。
- 車両・船舶には設置しない。
- 吸・排気口をふさがない。
- 機器のまわりや上に、スプレー缶・プラスチック・油・紙類などを置かない。
- 棚の下など落下物の危険のあるところには設置しない。
- 湯沸器や樹脂製の照明器具の下へ設置しない。

⚠注意

■十分な換気設備がある場所に設置する

換気が十分でないと湿気が多くなり、機器の故障の原因になります。

■水気の多いところおよび湿気の多いところには設置しない

機器の故障の原因になります。

① 湿気の多い場所

例●食堂（うどん屋さん、そば屋さんなど）のかま場

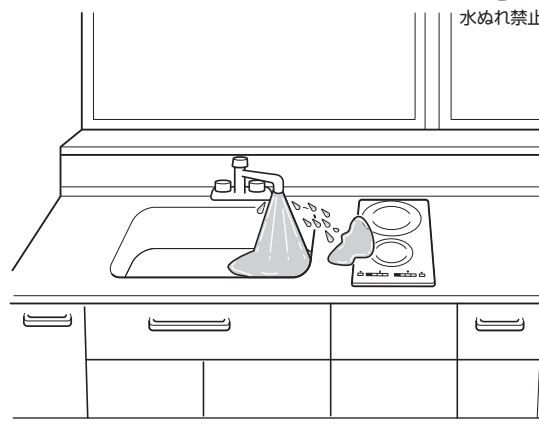
●土間、コンクリート床の場所

●酒、しょうゆなどの醸造・貯蔵庫など

② 水気のある場所

例●魚屋さん、八百屋さんの洗い場など、水を扱う場所

●水滴が飛散する場所

●地下室のように水が漏出したり結露する場所

■機器設置の際には必ず手袋をする

けがの防止になります。

■試運転中や運転後しばらくはトッププレートに触れない

高温のためやけどをすることがあります。

■長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、機器接続の専用ブレーカーを「切」にする

◎本体をタイルやモルタルで、塗り込まない。

◎ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板（JIS・K・6903）またはこれと同等以上の材料を使う。

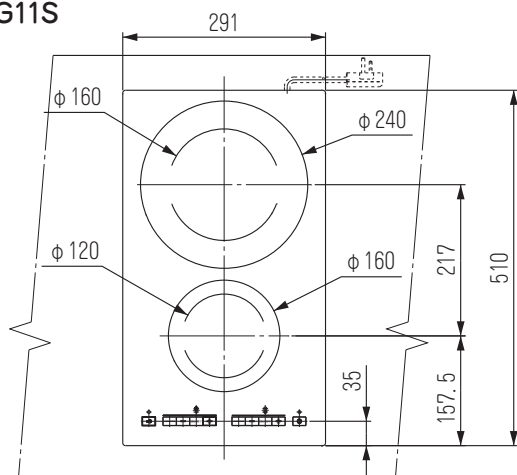
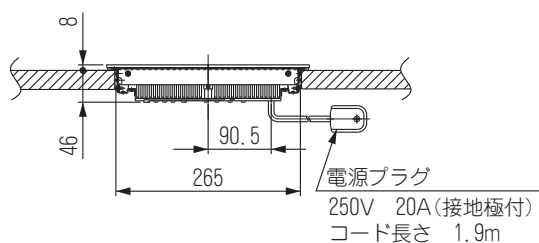
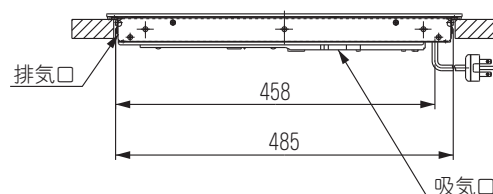
◎表面がニス引きのものは変色するおそれがあるので使用しない。

2 寸法図

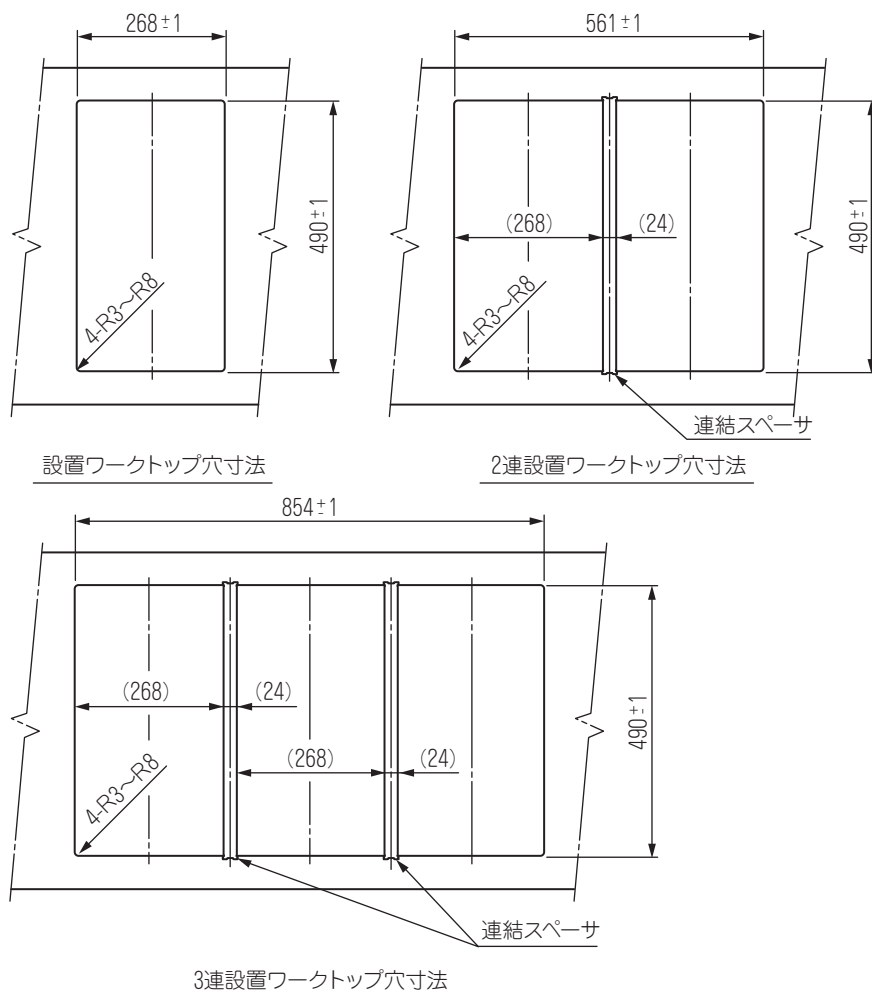
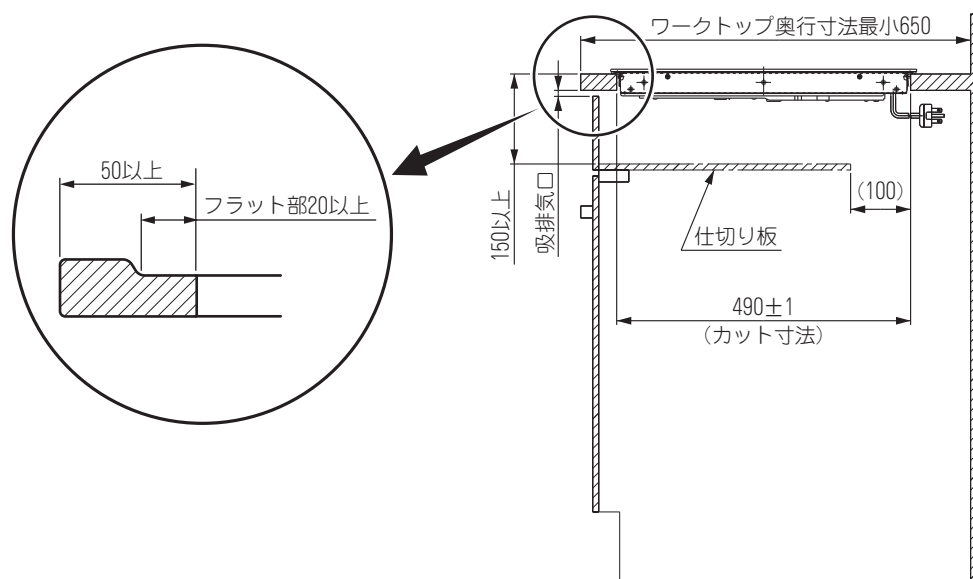
1．外形寸法図

（単位：mm）

RKD321G10S

RKD321G11S

2．キッチン組み込み寸法図

（単位：mm）

ワークトップ穴あけ寸法

キャビネットに組み込む寸法

◉キッチンなどに組み込む場合は、本体正面の吸排気口に、外気を取り入れるための10mm 以上の開口が必要です。また、本体正面に吸排気口を設けられない場合は、仕切り板前方に100cm²以上の開口を設けてください。

◉本体裏面には冷却ファンがあるので、ワークトップから150mm 以上の空間を確保してください。仕切り板（要不燃処理）などを取り付ける場合も同様です。

3 電気工事

■専用回路の設置

●電源にブレーカー付200V・20A の専用回路を設置します。
（機器の定格消費電力：単相200V　3.2kW）

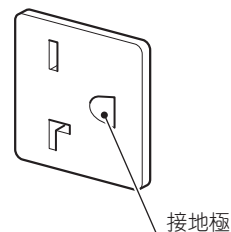
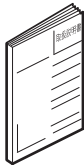
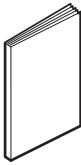
お願い	◉三相200V（動力電源）では使わないでください。

●屋内配線用電線は、線径φ2.0mm 以上のものを使用してください。
※φ2.6mm 以上にしておくと、将来的に30A 機器を設置するときにも対応できます。

■漏電しゃ断器の設置

●万一のときの安全のために、電源に漏電しゃ断器を設けた配線にしてください。
漏電しゃ断器は、定格感度電流が30mA のものをお使いください。

■コンセントの設置

●コンセントは手の届くところに設置してください。
※電源コードがよじれたり、負担がかからないように、コンセントの向きに注意してください。
●推奨コンセント（パナソニック電工製）
品番：WN1932（埋込型）　WKS294（露出型）
定格：単相200V 用　250V　20A（接地極付）

◉Ｄ種接地工事を必ず行ってください。
（コンセントの接地極に配線してください。）

■アース工事

● IH クッキングヒーターは定格電圧200V ですのでアースが必要です。（Ｄ種接地工事）
●アース線は法規に基づいた線（φ1.6mm 以上の軟銅線で被覆が緑色のもの）を使用してください。
●接地極の接地場所は湿気の多い次のようなところを選んでください。
- ガス管、水道管、地下ケーブルなどの布設されていない場所
- 避雷針用アースの場所から２ｍ以上離れたところ
- 人通りの少ない場所

●アース線は樹脂電線管で保護してください。
●接地抵抗の目安は500Ω以下になるようにしてください。
※漏電しゃ断器のない場合は100Ω以下。
●アース線は、IH クッキングヒーターの専用コンセントの接地極の端子に接続してください。

4 同梱部品の確認

① 部品の不足がないことを確認する。

部品名	取扱説明書	設置説明書
形　状		

② 設置する機器を確認する。

◉外箱から機器を取り出したら、まず機器全体、操作部など外観に異常がないか確認してください。

◉テープやマットは輸送中に機器を保護するためのものです。全部取り除いてください。

◉設置する機器が使用する電源電圧に適合していることを銘板で確認してください。
銘板は機器の本体底面に張ってあります。

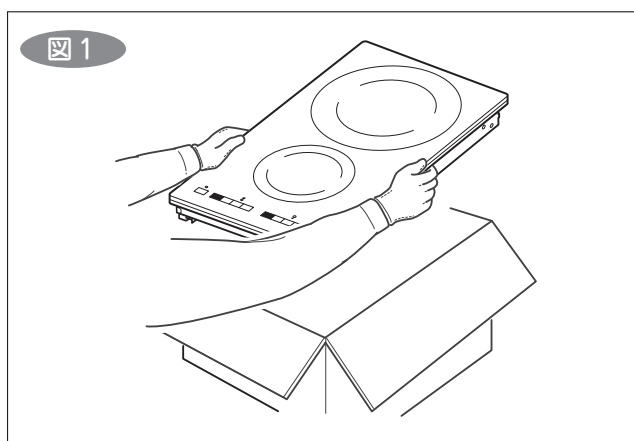
5 機器の設置

1．開梱して機器を取り出す

① 開梱して機器を取り出す。 図1

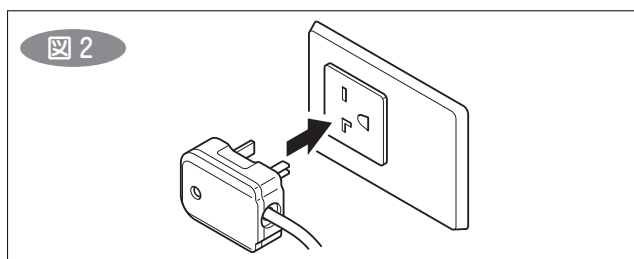
◉輸送のための包装部材がありますので、取り除いてください。

◉ 4 同梱部品の確認 を参照して、部品の不足がないことを確認してください。

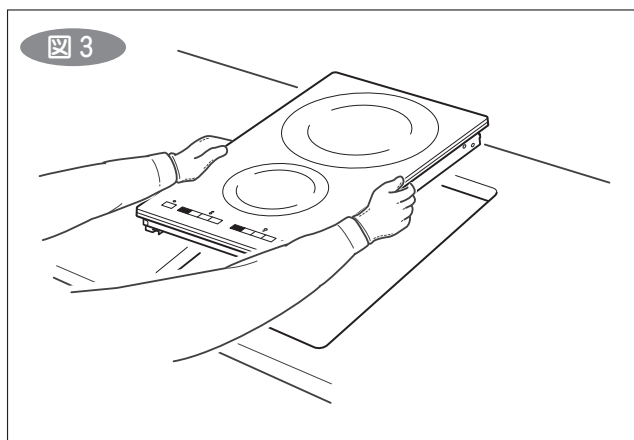
図1

2．単体設置

① 電源プラグを差し込む。 図2

※電源プラグを差し込むと、操作部の表示ランプが数秒間全て点灯し、消灯します。

図2

② コンロをワークトップにはめ込む。 図3

※ワークトップとの間にすき間があいていないか確認してください。

図3

③ コンロの横方向のすき間を調整する。 図4

◉本体側面に付いている六角ねじ（左右各２本）をゆるめて、機器を動かない程度にすき間を調整して固定してください。

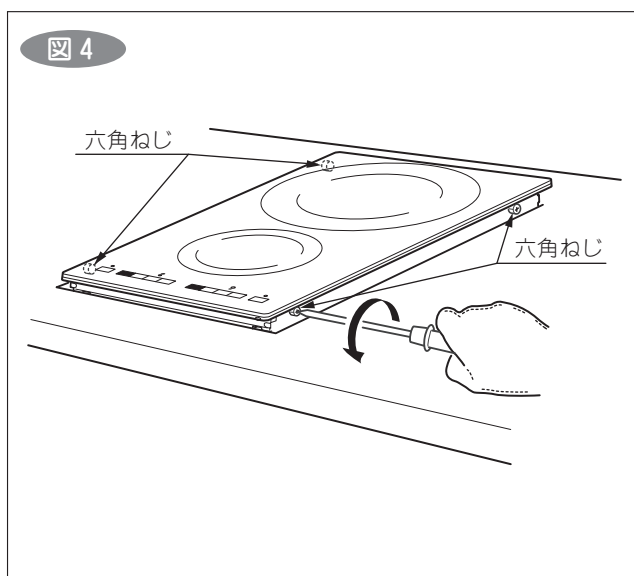
※ゆるめすぎると、ワークトップを壊したり、機器が変形したり、パッキンが浮く原因になります。

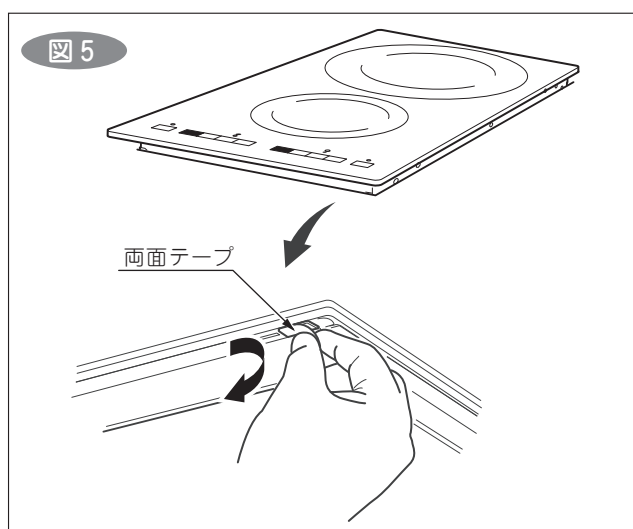
〈使用工具〉

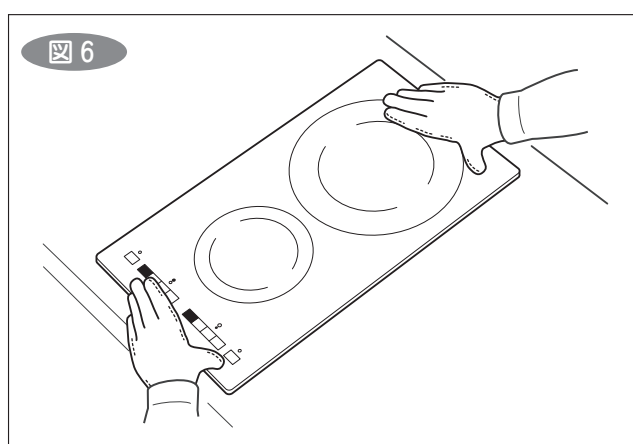
プラスドライバー、スパナ（呼び７）

◉プラスドライバー、スパナがない場合は、ペンチ・プライヤー・ラジオペンチ・モンキーレンチなどでねじの六角部をはさんで回してください。

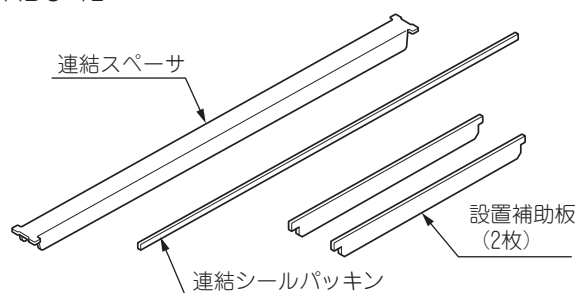
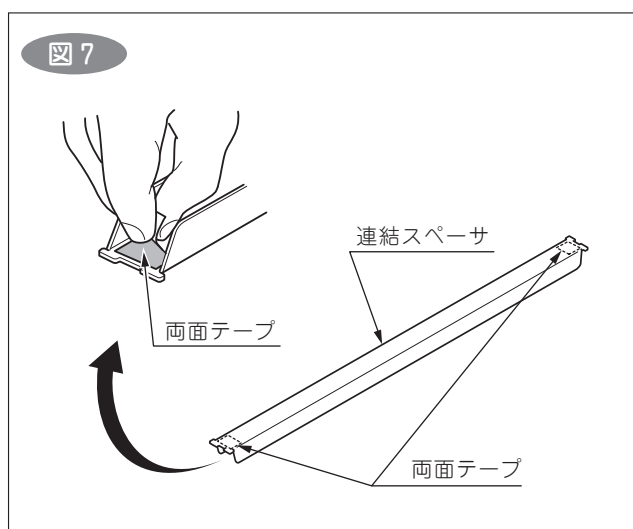
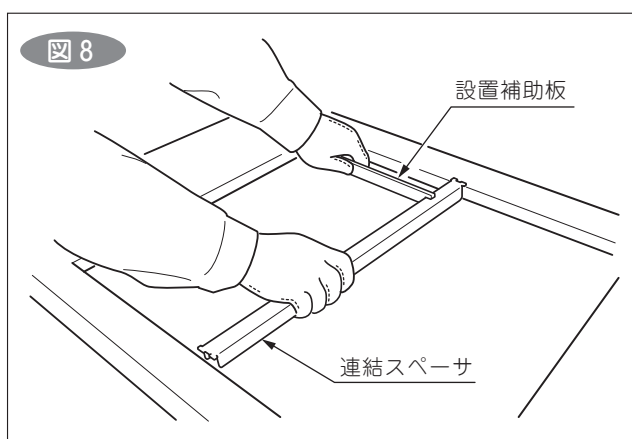
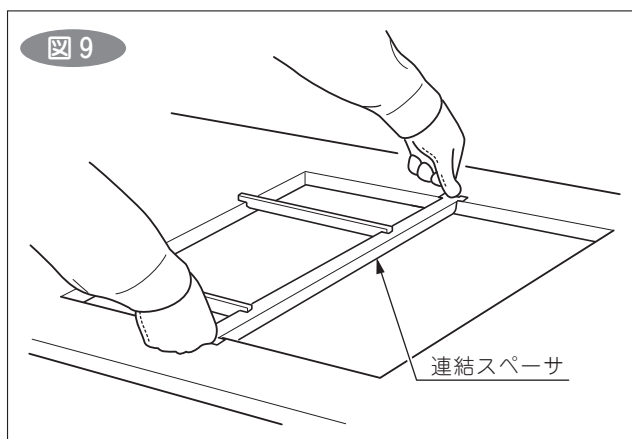
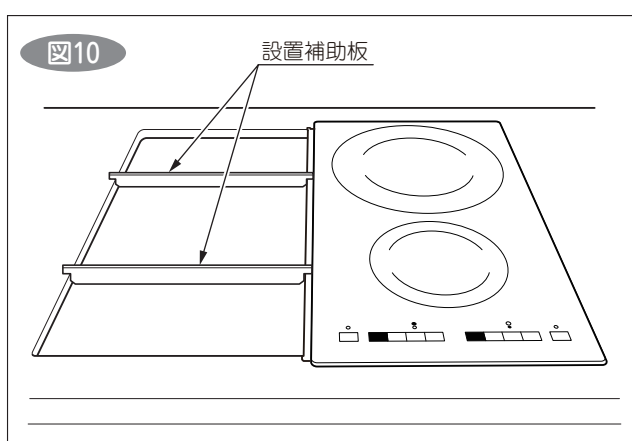
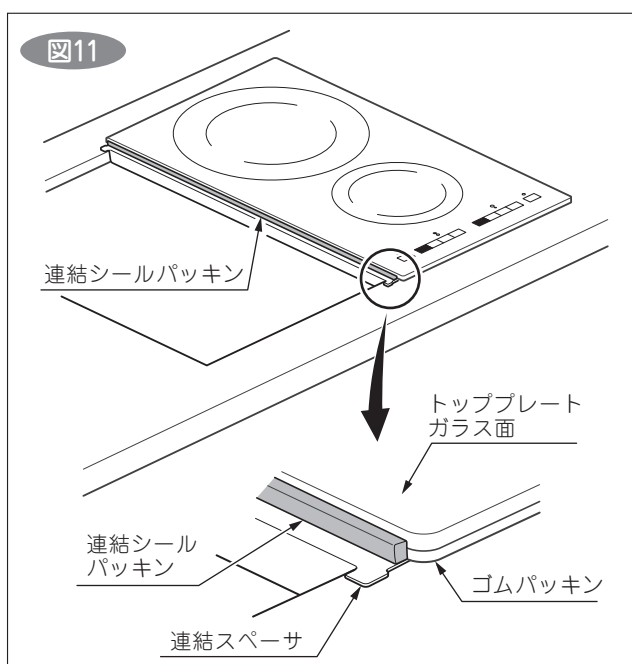
※工具を使用する際には、トッププレートに傷をつけないようにしてください。

図4

④　両面テープのはくり紙をはがす。 図5

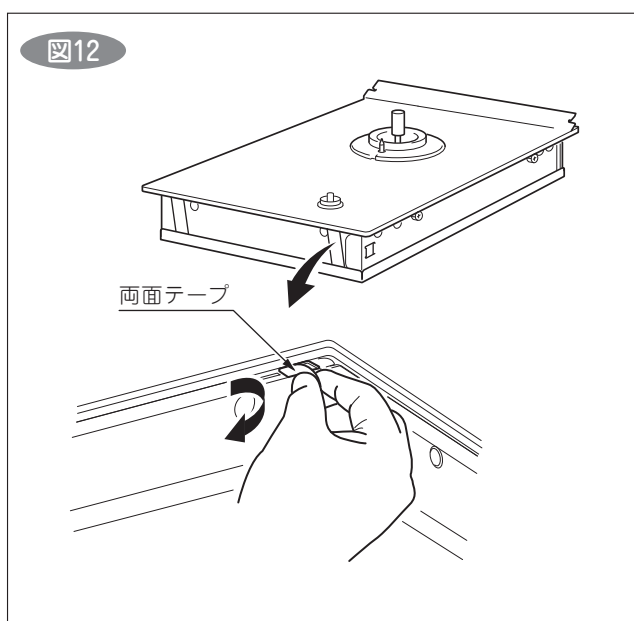
◉トッププレート裏面の前後4個所に張り付けてある両面テープのはくり紙をはがしてください。

⑤　コンロを押さえ、両面テープをワークトップに接着させる。 図6

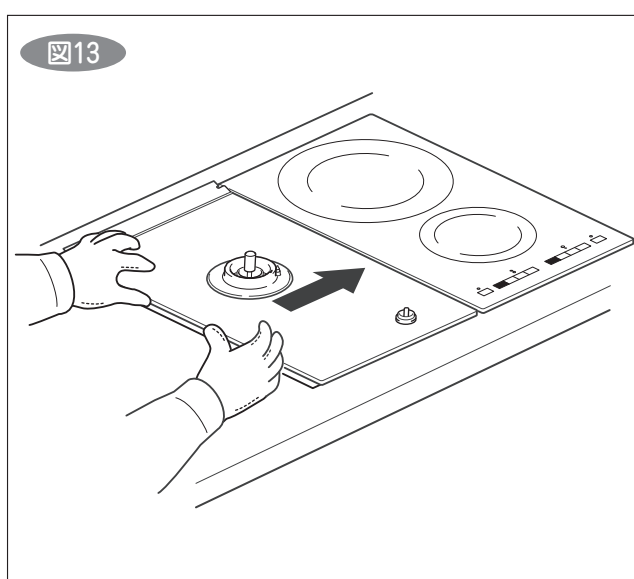
※しっかりと押さえつけて、浮き上がりのないことを確認してください。

3．連結設置

※連結設置する場合は、別売の連結部材セット（RBO-72）が必要です。
お買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所にお問い合わせください。

●連結部材セット
RBO-72

①　連結スペーサ裏面の前後に張り付けてある両面テープのはくり紙をはがす。 図7

② 設置補助板（2枚）で前後の位置間隔を合わせる。 図8

③ 連結スペーサを押さえて張り付ける。 図9
※しっかりと押さえつけて、浮き上がりのないことを確認してください。

④ 2．単体設置 を参照して1台目のコンロを設置する。 図10
◉設置後に設置補助板をはずしてください。

⑤ 先に設置したコンロのトッププレート側面に連結シールパッキンを張り付ける。 図11
◉パッキン側面を連結スペーサにあてながら、すき間のないように角の丸みの終わりから張り付けてください。
◉連結シールパッキンの後ろがあまった場合は、切り取ってください。
◉予備の連結シールパッキンは、お客様にお渡ししてください。

お願い
◉連結スペーサと連結シールパッキンの間にすき間があると、連結設置したトッププレートの合わせ目にパッキンがはみ出るので注意してください。

⑥　両面テープのはくり紙をはがす。 図12

◉トッププレート裏面の前後 4 個所に張り付けてある両面テープのはくり紙をはがしてください。

⑦　2 台目のコンロをはめ込む。 図13

◉連結シールパッキンをつぶすように横から押してください。

⑧　コンロの横方向のすき間を調整する。 図14

◉本体側面に付いている六角ねじ 2 本をゆるめて、機器を動かない程度にすき間を調整して固定してください。

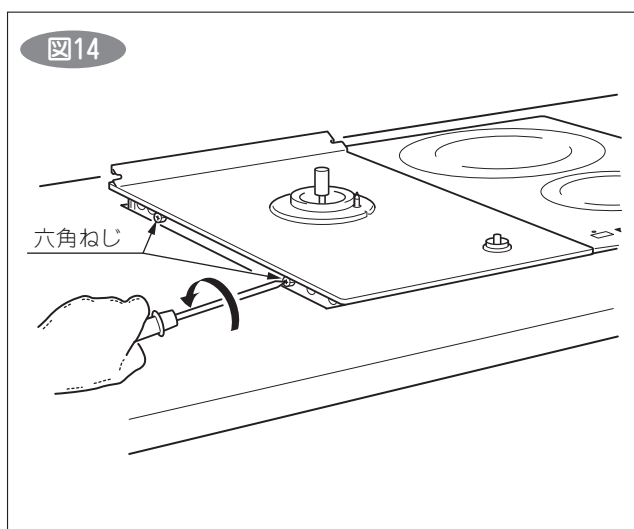
お願い

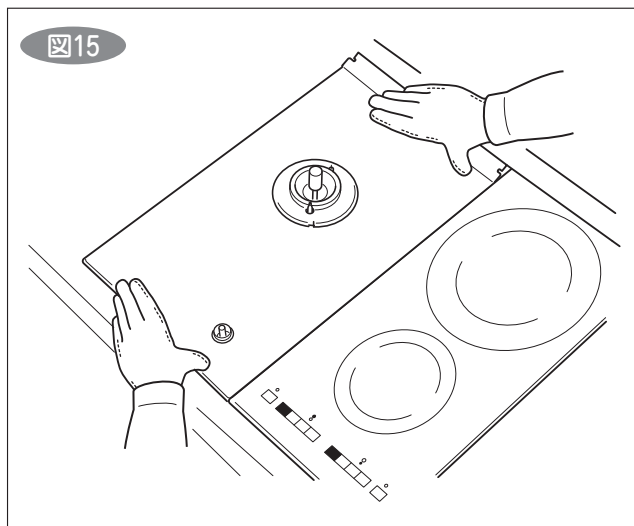
◉隣のコンロとの合わせ目と反対側のねじをゆるめてください。

〈使用工具〉

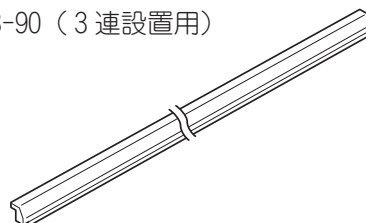
プラスドライバーまたは、スパナ

◉プラスドライバー、スパナがない場合は、ペンチ・プライヤー・ラジオペンチ・モンキーレンチなどでねじの六角部をはさんで回してください。

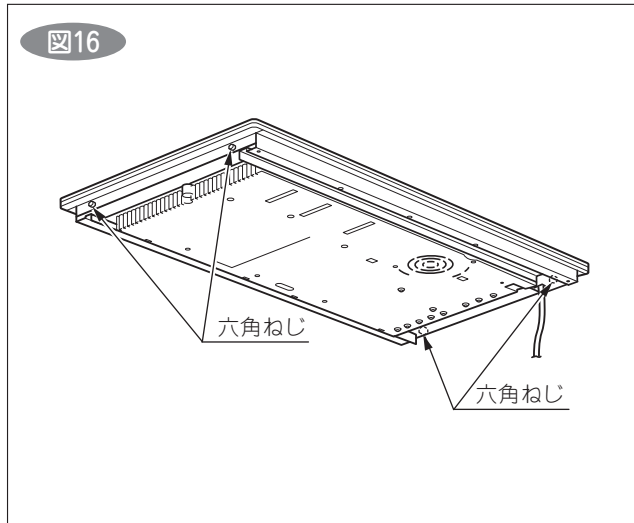
※工具を使用する際には、トッププレートに傷をつけないようにしてください。

⑨　設置したコンロを押さえ、両面テープをワークトップに接着させる。 図15

※しっかりと押さえつけて、浮き上がりのないことを確認してください。

⑩　必要に応じてトッププレート前後面に別売の連結フィラー（RBO-73-60または RBO-73-90）を取り付ける。

※お買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所にお問い合わせください。

●連結フィラー
RBO-73-60（２連設置用）
RBO-73-90（３連設置用）

４．買い替え時ワークトップ穴あけ寸法が小さい場合

〈ワークトップ穴の前後寸法が482～485mm の場合〉

①　本体前後面に付いている六角ねじ４本をはずす。 図16

6 設置後の点検確認

◉チェックリストに基づいて確認し、チェック欄に ✓ 印をしてください。

点検項目		点検内容	参照項目	チェック
機器およびその周辺	電源電圧	単相200V か。	3	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分か。	1	
	水平設置	水平にセットされているか。	1	
	安定設置	ガタツキはないか。	1	
	換気設備	十分換気できる場所に設置されているか。	1	
電気工事	アース工事	コンセントのアース端子はアースされているか。	3	
	電源プラグの接続	コンセントに確実に差し込まれているか。	3	
	漏電しゃ断器の設置	漏電しゃ断器を設けた配線になっているか。	3	
外観		トッププレートは汚れていないか。		

7 試運転

① 試運転

◉正しく設置されていることを確認し、チェック欄に ✓ 印をしてから試運転を行ってください。

点検項目	点検内容	確認個所	チェック
電源スイッチを入れる	電源ランプが点灯する。	操作部	
各ヒーターを「ON」にし、作動を確認する	水を入れたなべを置いて、お湯を沸かす。（鉄またはステンレスなべを使用） ※前・後 IH ヒーターでなべを置かないで「ON」にした場合、約1分後に通電を停止します。	前 IH ヒーター	
		後 IH ヒーター	

◉試運転が終ったら電源スイッチを切ってください。

② 試運転終了後の処置

◉試運転終了後長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、機器接続の専用ブレーカーを「切」にしてください。

③ お客様への説明

◉必ず取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。

◉必ず取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様に保証書付取扱説明書であることと保証内容を説明してください。

◉取扱説明書、設置説明書の保管のお願いをしてください。